



# すぎのこつうしん

平成 26 年 6 月号

古川東町カトリック保育園

## 「喜んでお手伝いをする心を育みましょう」

暑くなったかと思うと翌日は涼しくなったりと不安定な天候と疲れも加わり、体調を崩す子が多くなって来ました。連日、誰かしら園長室で過ごしています。一方、外で遊ぶ子ども達は野菜を植えたばかりのプランターを斜めにして蟻塚に夢中になったり園庭の砂を掘ったりして元気よく駆け回っています。

今月の目標は「喜んでお手伝いをする心を育みましょう」です。

お家でお子さんはお手伝いをしていますか？

子ども達はお手伝いが大好きです。先日物置を片付けていると「何か手伝う？」の声。物置から別の場所へ移そうと思っていた荷物を玄関まで運んでくれました。“ありがと”と言うと、とても満足した笑顔を見せていました。認めてもらえたという気持ちは自己肯定感を育むことです。大人は自分一人でやってしまえば早いと思ってしまうのですが、簡単な仕事を手伝ってもらいながら一緒にすることで、親子のコミュニケーションもとれ素敵な時間を過ごすことができることなのでしょう。是非この機会に実行していきましょう。どんなに年齢が小さくても出来る手伝いはあるものです。子どもと楽しんですることが大事です。そして手伝いの後には感謝の言葉も忘れず一。

話は変わりますが最近気になる本を見つけました。

『ネットに奪われる子どもたち』というNPO法人子どもとメディアで出版している本です。

一節を紹介致します。

### 〈スマホで変わる子育て〉

スマホは子育て中の若い親たちにも急速に広がり、子育ての様相が大きく変わり始めています。子育て中の親から、こんな声も聞こえてきます。

「子どもをあやすなら定番アプリの『いないいないばあ』。赤ちゃんがタッチすれば、いろいろな動物が“いないいないばあ〜”してくれます。うちの子、まだ8か月だけど一人で大人しく上手に遊びます。賢いですよ。大助かり」

「言うことを聞かない。なかなか寝ない。そんな、しつけが必要な場面は『鬼から電話』の出番。怖い鬼やお化けがスマホに電話してきて子どもを脅かしてくれます。すごく効きます。もちろん脅かすだけじゃなく、ほめるバージョンもあるのでほめるしつけもばっちり」

「子育てで困ったときにはネットの『質問箱』。24時間誰かが答えてくれます。いろいろな答えの中に自分の気持ちにぴったりの答えが見つかって、すごく安心できました」

「SNSでママ友がたくさんできました。ずっと一人で家の中にいるけど、寂しくありません」

「話題の育児便利グッズは、ちゃんと価格サイトで評価と値段を確かめてから購入します。それでもはずれがあるから、そういうときはオークションで売ります」

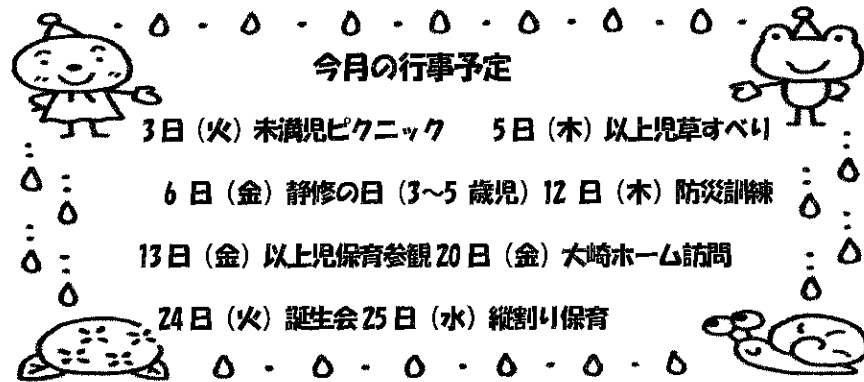
「もちろん買い物はネット通販です。生鮮食品や日用品も買えますよ。赤ちゃんを外に連れ出さなくてよいから安心です」

「あら、もうお昼・・・起きてから私はずっとスマホ、子どもはタブレット。子どもと二人でゆっくり過ごした午前中でした」

赤ちゃんにもパンデミック！

このようにして育った子ども達がどのような心を持ち成長していくのかと恐怖感を覚えました。これが現実なのでしょうか。少なくとも我保育園では、子どもとの関わりを大事にして、生の声で話しかけ、体を使って遊んで欲しいと願ってやみません。

〈 園長 平野 義子 記 〉



## 今月の行事予定

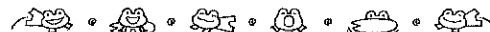
3日(火) 未満児ピクニック 5日(木) 以上児草すべり

6日(金) 静修の日(3~5歳児) 12日(木) 防災訓練

13日(金) 以上児保育参観 20日(金) 大崎ホーム訪問

24日(火) 誕生会 25日(水) 縦割り保育

お父さん・お母さんから



〇〇が保育園に通い始めて今年で6年目。いよいよ最後の年になってしまいました。男兄弟に挟まれてしまったせいか、少しおてんばで元気いっぱい女の子ですが、小さい時からしっかり者で弟の面倒を見てくれたり、お手伝いを進んでしてくれる小さなお母さんのような存在で私もすごく助かっています。

弟が産まれてから、家で甘えられる時間が少なくなり寂しい思いをしていた時期に、どうしても出来ない抑えられない気持ちを抱えて、それを保育園でぶつけてしまったことがありました。そんな時に優しく寄り添って話を聞いて気にかけてくれた先生方。いつも咲空を笑顔にしてくれたお友達。沢山の友達に支えられ、これまで無事に楽しく園での生活を送ることが出来ました。

私も子ども達と保育園に通い始めてもうすぐ10年目。育児の先輩である先生方に沢山のことを教えて頂きました。また、どの先生方も園の子ども達のことを分かっている連絡網には感心させられ、安心して子ども達をお願いできる環境を作って頂き、本当に感謝しています。母親としてはまだまだ未熟なことが多々ありますが、〇〇の残りの園生活がこれまでに以上に素敵なものになるよう、お力をお貸し頂ければとおもいます。(ひつじ組〇〇〇〇ちゃんのお母さんより)





### ばんび組 (0歳児)

(ねらい)

- ◎簡単な手伝いに興味を持ちしようとする。
- ◎体調の変化や清潔に気をつけてもらいながら、快適に過ごす。

〈家庭連携〉

- ・「ちょうだい」「ありがとう」のやりとりをしながら、簡単な手伝いに興味を持てるように働き掛けていきましょう。
- ・室内外の温度や湿度により衣服を調節し、気持ち良く過ごせるようにしましょう。また、体調の変化に気を付けていきましょう。

### ひよこ組 (1歳児)

(ねらい)

- ◎簡単な手伝いの楽しさを知る。
- ◎衣服の着脱に興味を持ちやろうとする。

〈家庭連携〉

- ・簡単な手伝いを一緒にに行い、褒めたりすることで‘楽しい’と感じられるようにしましょう。
- ・ズボンの履き方やボタンの掛け方を手を添えながら一緒にに行い、興味を持てるようにしましょう。また、ひとりでやろうとする姿を認め、さりげなく援助し出来た喜びを味わえるようにしましょう。



### ことり組 (2歳児)

(ねらい)

- ◎手伝いや当番活動の楽しさを知り、行おうとする。
- ◎情緒が安定する。

〈家庭連携〉

- ・家庭で出来る範囲の手伝いを用意し、手伝ってくれたことに丁寧に感謝の気持ちを伝えることで、手伝うことの喜びを知らせていきましょう。
- ・子どもと一緒に過ごす時間を大切にし、触れ合いや会話を楽しみましょう。



### こねこ組 (3歳児)

(ねらい)

- ・周りの人に目を向け手伝おうとする。
- ・身近な自然に触れ、梅雨の季節を感じる。

〈家庭連携〉

- ・簡単な手伝いを子ども達に体験させ、してもらったことに感謝し沢山褒めていきましょう。
- ・おしぼりを絞る練習をするので、丁度良い大きさのおしぼりを用意して下さい



### うさぎ組 (4歳児)

(ねらい)

- ◎進んで手伝い助け合おうとする。
- ◎姿勢を正しながら食事を摂る。

〈家庭連携〉

- ・自ら手伝おうとする気持ちを大切にし、助け合って行えるよう知らせていきましょう。
- ・正しい姿勢で皿を持って食事するよう声を掛け、自分で意識して行えるようにしましょう。



### ひつじ組 (5歳児)

(ねらい)

- ◎小さい子、困っている人、に気付き優しく接したり手助けをする。
- ◎自分の身の回りのことや体に関心を持ち、健康に必要な習慣を身に付ける。

〈家庭連携〉

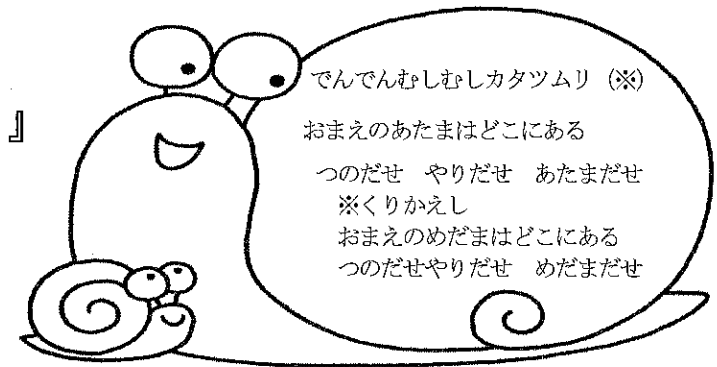
- ・家庭の中で手伝いを頼むことで人の役に立つ嬉しさを味わわせましょう。
- ・自分の歯や体を清潔にする大切さを知らせていきましょう。



給食室：保育園では給食を準備する際、あいさつや配膳など年齢に合わせてお手伝いをしてもらっています。お手伝いすることで感謝されることを喜びに感じているようです。ご家庭でも、進んでお手伝いが出来る様ご協力お願いします。

## ♪今月の童謡

### 『カタツムリ』



でんでんむしむしカタツムリ (※)

おまえのあたまはどこにある

つのだせ やりだせ あたまだせ

※くりかえし

おまえのめだまはどこにある

つのだせやりだせ めだまだせ

〈喜んで手伝いをする心を育みましょう〉

ひつじ組では3つのグループに分かれ、おもちゃ小屋の整理整頓、テラスや玄関をほうきで掃く、布団敷きの手伝いをグループ毎に交替しながら毎日行っています。「今日の布団グループは〇〇グループだよ」と子ども達の中で確認し合っているものの手伝いよりも遊ぶ方が優先し、なかなか進まないのが現状です。しかし、「片付けてね」と声を掛けるだけではなく、一人ひとりに何をどうすれば良いのか具体的に伝えると、喜んでしてくれます。「〇〇君、スコップ揃えるの手伝って」「こねこ組の〇〇ちゃんの手伝い、綺麗に敷いて」等、保育士に頼まれたことを意欲的に行っています。

保育園の中で一番大きいお友達であるひつじ組の子ども達。小さいクラスの友達が出来ないことを手伝う喜びを味わうと共に、役に立つ嬉しさを感じて欲しいと思います。楽しい手伝いだけでなく、ちよっぴり苦手な手伝いも「やってみよう」という気持ちを持って挑戦してほしいです。

(ひつじ組担任 宮澤果代子)



## あなたの一分間拝借

「私にも手伝わせて」、「僕にもやらせて」、子ども達は、親の手伝いをしたがるものです。食事の片付け、新聞を取りに行く、玄関のお掃除等子どもなりに出来ることは何でも任せる広い心で見守る寛容な姿勢が求められるものです。忙しい時などは、「あっちに行って遊んで下さい」と、子どものお手伝いをしたいという心の芽を潰してしまう場合が、どこの家庭でも見受けられることと思います。あなたが手伝うとかえって足手纏いになるからといって断るケースが多いのではないのでしょうか。自重自戒のですね。

6月のテーマは、『喜んでお手伝いする心を共に育みましょう！』です。

皆で「お手伝い」の喜びを味わい合えるチャンスを生活の流れの中で分かち合いながら水無月の日々を過ごしましょう！お手伝いの心の深層は、独り相撲ではありません。家庭並びに地域社会全体で培われるところにあります。ある肉屋さんで幼い娘さんが、夕飯のお買い物をした時、包装を終えた店主が幼い娘にわざわざ品物を渡しながら、「お手伝いのご褒美ですよ」と言って「ハム」を一枚あげたのです。それは美しい行為ですが、ここに地域社会全体が子ども達に生活の流れの中で手伝うことの尊さと喜びを教え諭している素晴らしい姿が秘められていると思います。このことは、人としてのあるべき姿と分かっているから出来そうである実行に移せない仕業（しわざ）でもあり、心しなければならぬ幾つかの点があるように思われます。皆で心の目を開いて考えてみたいですね。

- ① お手伝い、それは「奉仕」を意味していることに気付き、そのことを教えることです。子ども達の心の奥には、神様からお手伝いという形で奉仕の力が与えられていることに目覚め、それを家庭生活の基で引き出してあげ、分かち合うことが大切です。聖書にイエスのみ言葉が次のように記されています。

私は、「人に仕えるために世に遣わされたが、仕えられるために世に遣わされたのではない。」と言い、弟子たちの前に膝をつき一人ひとりの足を洗いながら接吻し、「師である私が弟子の足を洗ったのだからあなたがたも互いに足を洗い合いなさい」と仰って相互愛が奉仕にあることを諭された根拠に猛省を促しております。

- ② 従って「お手伝い」には、取引があってはなりません。ともに真の愛の心で共に働くことを意味しますから自己満足やお駄賃を期待したり、歪んだ心で行われては、奉仕の芽は潰され、神の前に嘉されるどころか人間性低俗化に陥り、喜びも誇りも失うことでしょう。自重自戒のですね。心しましょう。
- ③ 自ら謙ることが大切であることに目覚め、仕えられることにより、仕えることに重きをおく生活を求めることに力を尽くしましょう
- ④ 成功した時には、誇り高ぶるのではなく『おかげさまで』という姿勢を保ちましょう。
- ⑤ 実行する時は、必ず『・・・させていただけます』という姿勢態度を忘れずに！  
「あれは僕たちが助けてやったんだ・・・、私が手伝ってあげたんだ・・・」という驕りの心を子ども達の心に無意識的に植えつけてしまう結果にならないように大人である私たちが十分に注意配慮をするよう心掛けましょう。



人は誰でも社会性に招かれています。人間的存在であるといわれています。人と人との間に居る自分を見つめ、お互いにそれぞれの役割を果たしてこそ人間的存在として生きているのです。自分は知らないうちに知らないところで、知らない人から支えを頂いているという事実を知って、自分もそのように人々に仕える姿勢があるところにまことの「仕合せ」があることに目覚めましょう。子ども達にとって極めて至難な「仕業」だけに保育に関わる大人である私たちにとっては、十分に目配り、気配り、心配りしながら共に育み合うようベストを尽くしてほしいものです。『私は、仕えられるためではなく、世に仕えるために来た』というイエスのみ言葉の真相がそこに啓示されているのです。仕えることは卑しいことではなく、神の前に最高の人間になるために、とても必要な徳であることに傾聴し、新しい人間、イエスの示された新しい生き方に目覚め、約束された復活のいのちに人生のあゆみを委ねて生きる恵みを願う6月の日々としたいですね。お手伝いの心の原点は『仕える心』から！

カトリック司祭  
川井 啓



## 今月のうた

♪ 希望の灯 (あかり) ♪

わたしたちは 主においてひとつ

わたしたちは 主においてひとつ

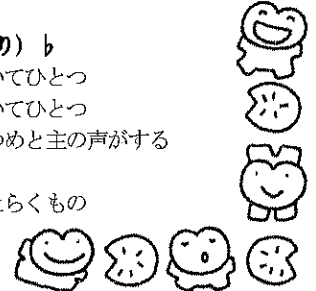
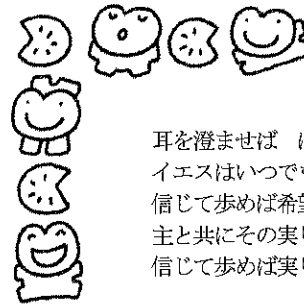
耳を澄ませば はるかかなたより たちてあゆめと主の声がする

イエスはいつでも共にいるから

信じて歩めば希望の灯が 主の名においてはたらくもの

主と共にその実り味わう

信じて歩めば実りは豊かに



## お知らせ

- ★ 以上児の『草すべり』が年間行事では6日(金)に予定しておりましたが、5日(木)に変更となります。尚、この日は**全員(1歳の誕生を迎えた子から)**おべんとう持参となります。保冷剤を入れてください。
- ★ 5月21日より吉田奈々保育士が0歳児クラスに入っております。宜しくお願ひ致します。
- ★ 産休中の伊藤順子保育士が4月末、女児を出産しました。引き続き育休となります。